

令和5年度 国立山口徳地青少年自然の家 教育事業  
「徳地アドベンチャー教育プログラム研修会」

開催要項

1. 趣 旨 「徳地アドベンチャー教育プログラム」(以下、TAP)の体験を通して、その教育効果を体感するとともに理念や手法を理解する。
2. 主 催 国立山口徳地青少年自然の家
3. 後 援 山口県教育委員会・福岡県教育委員会 申請中
4. 期 日 第1回 令和5年6月10日(土)～11日(日) 1泊2日  
第2回 令和5年12月2日(土)～3日(日) 1泊2日
5. 会 場 国立山口徳地青少年自然の家  
〒747-0342 山口県山口市徳地船路668
6. 講 師 国立山口徳地青少年自然の家 職員
7. 対 象 一般・大学生の方 先着30人  
(例)・小・中・高等学校・専門学校等の教員、教員を志す学生  
・青少年教育施設、子ども会活動や学童保育・放課後子どもクラブ等、青少年教育に携わっている方  
・企業で新人研修等の研修を担当されている方  
・スポーツチームの指導者や、部活動の指導者  
・TAPに関心のある方等  
※ 本研修会の修了者は来年2月開催の「TAP指導者養成講習会」を受講することができます。
8. 参加費 3,700円  
【内訳】食事代2,830円(朝食530円,昼食730円×2回,夕食840円)  
シーツ等クリーニング代300円,保険代211円,教材費359円
9. 申し込み ・Forms(右下の二次元コード)より申込  
※開催要項・チラシ・参加申込書は弊所HPからダウンロードが可能です。  
・先着順(後日,こちらから参加決定通知をお送りいたします)  
・アレルギー等特記事項について必要に応じて記載してください。

【申込期間】第1回 5月1日(月)～6月2日(金)  
第2回 10月16日(月)～11月24日(金)



申込URL: <https://forms.office.com/r/sKesEAvwBE>

10. 持ち物 野外活動に適した服装（長そで，長ズボン，長靴下），屋外で運動できる靴，着替え，帽子，カッパ（上下セパレートのもの），洗面用具，懐中電灯，水筒，筆記用具，健康保険証，常用薬・除菌シート（必要な方のみ），防虫スプレー等

## 11. プログラム

### (1) 日程

1	10:00	10:30	12:00	13:00	17:00	19:00	21:00
日 目	開講式 OR	セッション ①	昼食	セッション ②	夕食・入浴	セッション ③	情報交換会
26	9:00	12:00	13:00	14:30	15:00		
日	セッション ④	昼食	セッション ⑤	閉講式			

### (2) 内容

- セッション①：参加者相互が和やかな関係をつくるための規範づくり。
- セッション②・③・④：以下のことを体験により体感する。
  - ・アイスブレイクやコミュニケーション，イニシアチブなど，様々なアクティビティ
  - ・ローエレメント，ハイエレメントの特徴や教育効果の違い
  - ・ふりかえりの効果
- セッション⑤：以下のことを講義により理解する。
  - ・TAPの考え方
  - ・活動の基本的な組み立て方
  - ・ファシリテーターの意味や役割等

## 12. バス送迎（参考情報）

- 1日目 新山口駅南口 8:50 発 自然の家 9:50 着
- 2日目 自然の家 15:15 発 新山口駅南口 16:15 着
- ※ バス送迎は無料です。
- ※ 前後泊希望者は別途こちらから確認の連絡をさせていただきます。

## 13. 個人情報の取り扱いについて

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物を、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む）等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物やインターネット（以下、「印刷物等」）に記事・写真を掲載することもあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人（又は保護者）から削除依頼を受けた場合は速やかに削除します。ただし、機構発行の印刷物並びに機構以外の者が発行・運営する印刷物等については対応できかねますのでご了承ください。

ご承諾いただけない場合は事前に事業担当者へご相談ください。

### 問い合わせ先

国立山口徳地青少年自然の家 担当：姫野 大夢（ひめの ひろむ）  
〒747-0342 山口県山口市徳地船路6 6 8  
TEL:0835(56)0112 FAX:0835(56)0130  
E-mail:tokuji-kikaku@niye.go.jp

## 参考情報

### <お知らせ>

○「徳地アドベンチャー教育プログラム指導者養成講習会」を令和6年2月10～12日の2泊3日で開催予定です。

○弊所には、TAPの外部講師として登録し、利用団体に指導に当たることができる制度があります。

今回の研修に参加された方が上記の研修に参加し、修了していただき、規定のOJTを受けていただくことが条件となります。

### <TAPとは>

○「プロジェクトアドベンチャージャパン (PAJ)」が行っている「プロジェクトアドベンチャー」(PA)を基盤にしたグループワークプログラムです。

○チームワークの向上、協調性や自己肯定感の醸成の中で、個を成長させるプログラムです。

○1グループ(最大20名)につき1名のファシリテーターが指導にあたります。

○特に、「エレメント」と呼ばれる道具・設備を使った活動が特徴です。今回の研修でも一部使用します。

○TAPは、学校のみならずスポーツチームや企業でも活用されています。

○詳しくは、「プロジェクトアドベンチャージャパン (PAJ)」のホームページをご覧ください。

#### (1) 目的 (効果)

以下の目的を設定することができます。換言すれば、教育効果があるということです。

- ・協力 → 気持ちを合わせる, 力を借りる, 力を貸す
- ・コミュニケーション → 思いや考えを伝える, 受けとめる
- ・自信 → 成功体験, 失敗から学ぶ
- ・挑戦 → チャレンジすることの喜び, 自分が知らない自分の発見 等

#### (2) 方法

- ① 「冒険 (アドベンチャー)」の中で予想できる危険を感じながらどこまでチャレンジするのかといった状態 (非日常のドキドキ感) を活用します。
- ② 「体験学習」といい、体験から気づくことや学ぶことを中心とします (学ぶ者の主体性)。
- ③ 指導者の役割は、「ファシリテート」といって、「気づき」を促すことです。
- ④ 他の活動プログラムの指導にも、この手法を適用することができます。  
例: 登山, キャンピング, 野外炊飯, オリエンテーリング等

#### (3) 展開例

プログラムは、以下の活動により構成されています。

- ① 緊張を解きほぐす活動
- ② コミュニケーションを活性化する活動
- ③ グループで課題を解決する活動
- ④ 信頼感を高める活動
- ⑤ 目標設定や活動を振り返る話し合い